

2024.9.18

インデックス、フィリピンで廃棄物発電 P P P 事業の実現めざす - ストーカー炉 3.7MW ~ 20年間運営 -

建設コンサルタント企業のインデックスストラテジー(本社：東京都港区)~マレーシア・H S Sグループ~仏 G S Rの3社コンソーシアムは、フィリピンの西部にあるパラワン島において、官民連携(P P P)による廃棄物発電プラント新設・運営プロジェクトの実現を目指す。すでに事業化調査(F S)を完了しており、近く同島のプエルトプリンセサ市政府に対して、民間提案を行う。この提案に対する市政府の評価を経て、P P P契約の交渉が開始される見通し。2026年3月までの契約締結を目指す。

プロジェクトは、パラワン州の州都プエルトプリンセサの郊外にあるサンタルシア地区(総面積1,072万㎡)を、エコツーリズムを中心とするスマートシティとして開発するもの。「電力」「交通」「通信」を3本柱として開発する構想が立てられ、その一環として3.7MWの廃棄物発電プラントを新設・運営する。ストーカー式焼却炉を主要技術として、効率的な発電と廃棄物リサイクルの実現を図る。運営期間は20年間を予定している。事業規模は設備投資(C A P E X)が約82億円、運営費(O P E X)が約26億円。

P P P契約締結後、インデックスストラテジー~H S Sグループ~G S Rは合弁事業会社を設立し、プロジェクトの建設・運営を行う予定。この合弁企業会社に対し、プエルトプリンセサ市政府が最大50%出資できる。

[戻る](#)

※掲載記事の無断転載を禁止します。

著作権は(株)重化学工業通信社に帰属します。

Copyright (C) The Heavy & Chemical Industries News Agency, all rights reserved